

## MIEコーポレーション

### 永井社長「販価維持し収益確保」

MIEコーポレーションの18年4～12月期連結決算は配管システム事業が底堅く推移し、現中期経営計画で推進する収益向上策が順調に効果を上げていることなどを反映し、増収増益だった。

しかし、中国経済の減速に伴う設備投資の伸び悩みを受け、昨秋からステンレス継手製品の需要の潮目が変わり、12月以降、管材商社などユーザーが在庫調整を進める動きが顕在化している。先行き不透明感の強さに加えて、これまで

のニッケル相場下落を受けて市況に先安観がまん延。買い控えによって荷足が鈍っている面もあるとみられる。

永井社長は1～3月期以降需要環境が一段と厳しくなると見通す一方、通期の業績予想は修正しない考えを示した。

その上で、継手は需要の減少局面で販売競争が起こりやすい製品でもあるが「下押しムードであっても販売価格の維持を徹底し、収益確保に努めたい」と強調した。